S-16

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省 エコアクション21

認証番号0009368

# 環境経営レポート

## 2023年度版

（2022年10月～2023年9月）

当社の施工例

2023年12月22日発行

西部ガスグループ

株式会社 吉川工務店

YOSHIKAWA

# 目　　次


１　環境経営方針 …… １

２　組織の概要 …… ２

３　認証・登録の対象範囲 …… ２

４　環境経営目標 …… ３

５　環境経営計画 …… ４

６　環境経営計画に基づき実施した取組内容 …… ５

　6-1. エコアクション21実施体制 …… ５

　6-2. 2023年度に実施した環境への取組 …… 6-7

７　環境経営目標の実績 …… ８

８　環境経営計画の取組結果とその評価 …… ９

９　次年度の計画 ……

　9-1. 環境経営目標 …… 10

　9-2. 環境経営計画 …… 11

10　環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無 …… 12

11　代表者による全体評価の見直しの結果 …… 12

# １．環境経営方針

株式会社 吉川工務店は、事業活動において地球保全を最重要課題と認識し、全社員一丸となり地球にやさしい環境活動に努めます。

１．　事業活動を通じて、以下の重点項目に取り組みます。

（１）二酸化炭素排出量の削減
・電力、燃料使用量の削減

（２）廃棄物排出量の削減
・産業廃棄物リサイクル率の維持
・事務所の廃棄物の削減

（３）水の適正使用による使用量削減

（４）グリーン購入の推進

（５）地域貢献活動の推進

（６）自主設計における環境配慮の推進

（７）働き方改革の推進

２．関係する環境関連法規を遵守します。

３．グループ会社と連携しSDGsに取り組みます。

４．環境経営の継続的な改善を図ります。

制定日　2012年9月20日
改定日　2023年4月1日
株式会社　吉川工務店
代表取締役　進　研一

# 2. 組織の概要

（1）　事業者名
代表者氏名

株式会社　吉川工務店
代表取締役　進　研一

（2）　所在地

本社　〒810-0074　福岡市中央区大手門3丁目8番22号
TEL　092-751-4161
FAX　092-752-2339
機材センター　〒819-0383　福岡市西区大字田尻47-1

（3）　環境管理責任者

光安　孝史　（営業部課長）

担当者連絡先
メールアドレス

白井　三奈子　　電話：092-751-4161
shirai@y-kou.co.jp

（4）　事業の内容

建築工事業、電気工事業、ネット販売業、一級建築士事務所、不動産業

（5）　事業の規模

2023年度完成工事高　：　百万円

| 項目 | 単位 | 本社 | 機材ｾﾝﾀｰ | 全社 |
|---|---|---|---|---|
| 従業員数 | 人 | 43 | 0 | 43 |
| 床面積 | ㎡ | 432.2 | 106.3 | 538.4 |

（6）　事業年度

4月～翌年3月

（7）　環境活動年度

１０月～翌年９月

# 3. 認証・登録の対象組織・活動

（1）　対象事業所

本社
機材センター

（2）　対象活動

建築工事業、電気工事業、ネット販売業、一級建築士事務所、不動産業

# 4.環境経営目標

- 環境経営目標は、当社の事業活動を踏まえて、単年度目標（2023年度）と中長期目標（2031年度、2032年度）に分けて、以下の6項目23目標をサイト区分（事務所、現場、計）して設定しました。
- 主要な環境負荷である二酸化炭素排出量については、基準年（2021年度実績値）に対して、毎年1％ずつ削減し、2023年度は2％削減、2032年度までに11％削減を目指します。
- 事業活動で取り組む本業目標は「自主設計における環境配慮の推進」 を掲げ、全社を挙げて取り組みました。
- なお、当社はエコアクション21の取組を通じて、SDGｓの推進に取り組んでいます。

（年度：10月～翌年9月）

| 項目 | サイト区分 | 単位 | 基準年 | 単年度目標 | 中長期目標 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2021年度 | 2023年度 | 10年後 2031年度 | 11年後 2032年度 |
| | | | 実績値 | （2%削減） | （10%削減） | （11%削減） |
| 1.二酸化炭素排出量の削減 | 事務所 | kg-$CO_2$ | 67,313 | 65,967 | 60,582 | 59,909 |
| | 現場 | | 82,328 | 80,681 | 74,095 | 73,272 |
| | 計 | | 149,641 | 146,648 | 134,677 | 133,180 |
| (1)電気使用量の削減 | 事務所 | kWh | 104,143 | 102,060 | 93,729 | 92,687 |
| | 現場 | | 72,386 | 70,938 | 65,147 | 64,424 |
| | 計 | | 176,529 | 172,998 | 158,876 | 157,111 |
| (2)ガソリン使用量の削減 | 事務所 | L | 9,842 | 9,645 | 8,857 | 8,759 |
| | 現場 | | 22,724 | 22,270 | 20,451 | 20,224 |
| | 計 | | 32,565 | 31,915 | 29,309 | 28,983 |
| (3) 都市ガス使用量の削減 | 事務所 | ㎥ | 38 | 37 | 34 | 34 |
| (4)軽油使用量の削減 | 事務所 | L | 134 | 131 | 121 | 119 |
| | 現場 | | 13 | 13 | 12 | 12 |
| | 計 | | 148 | 144 | 133 | 131 |
| (5)灯油使用量の削減 | 現場 | L | 685 | 671 | 617 | 610 |
| 2.廃棄物排出量の削減 | | | | | | |
| (1)一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | kg | 1,239 | 1,214 | 1,115 | 1,103 |
| (2)産業廃棄物のリサイクル率維持 | 現場 | %（リサイクル率） | 83.9 | 83.9 | 83.9 | 83.9 |
| 3.水使用量の削減 | 事務所 | ㎥ | 145 | 142 | 131 | 129 |
| | 現場 | | 1,391 | 1,363 | 1,252 | 1,238 |
| | 計 | | 1,536 | 1,505 | 1,382 | 1,367 |
| 4.グリーン購入の推進 | 事務所 | 件数 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | 現場 | | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 5.地域貢献活動の推進 | 事務所 | 回数 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 6.自主設計における環境配慮の推進 | 事務所 | 件数 | 1 | 1 | 1 | 1 |

備考）・購入電力の二酸化炭素排出係数は、調整後排出係数は0.391kg-$CO_2$/kWh（九州電力（株）2021年度）と0.423kg-$CO_2$/kWh（西部ガスでんき2019年度）を用いた。
・産業廃棄物のリサイクル率維持には機材センターも含む。

# 5．環境経営計画

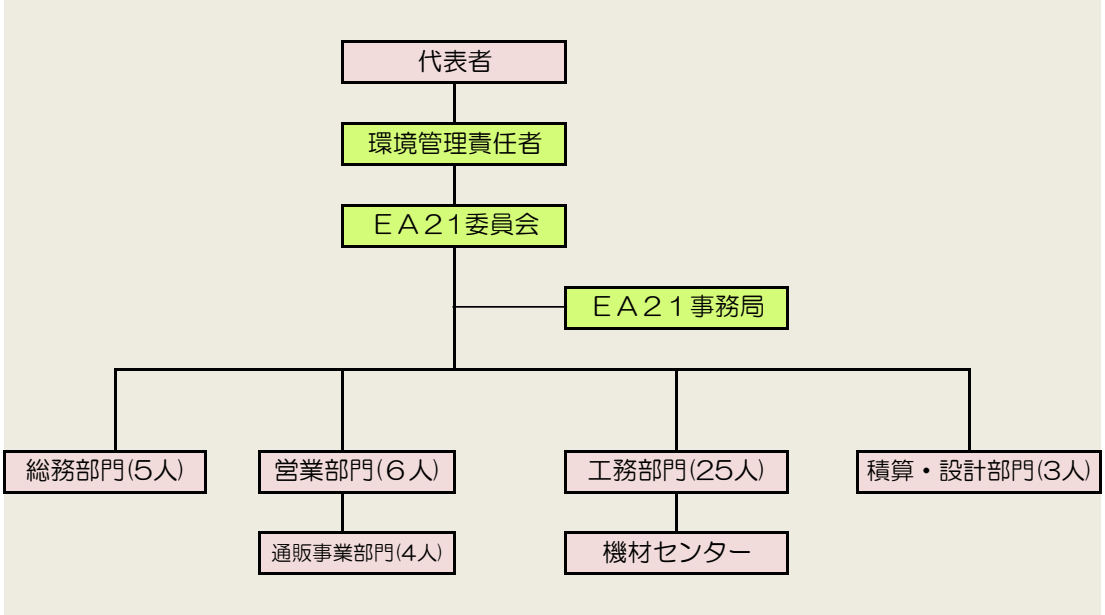
・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みました。

| 項目 | サイト区分 | 責任者 | 取組活動 | 担当者 | スケジュール |
|---|---|---|---|---|---|
| 1.二酸化炭素排出量の削減 | | | | | |
| (1)電気使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 山本 | クールビズ、ウォームビズ実施、ポスター掲示し意識付け | 白井 | 冷房期：7～10月<br>暖房期：12～3月 |
| | | | 空調機の設定温度の管理 | | |
| | | | 空調機フィルターの清掃 | 山口（翔）/各現場 | 3カ月に１回 |
| | | | 使用時以外の照明の消灯 | | 通年 |
| (2)ガソリン使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 井上 | エコドライブ10のポスターを掲示し意識付け | 白井 | 通年 |
| | | | 公共機関の利用 | 島袋/各現場 | |
| | | | 訪問先への最短距離の計画 | | |
| | | | 急発進を行わない | | |
| | | | 無用なアイドリングの禁止 | | |
| (3)都市ガス使用量の削減 | 事務所 | 山本 | 火力の調整を行う | 丸山 | 通年 |
| | | | 使用しない時は元栓を閉める | | |
| (4)軽油使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 井上 | 急発進を行わない | 島袋/各現場 | 通年 |
| | | | 無用なアイドリングの禁止 | | |
| (5)灯油使用量の削減 | 現場 | 富﨑 | 防寒対策を行いストーブ等の使用を控える | 各現場 | 暖房期：12～3月 |
| 2.廃棄物排出量の削減 | | | | | |
| (1)一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | 山本 | 裏紙の再利用、段ボールなどのリサイクルを行う | 結城 | 通年 |
| | | | メール、LINEWORKS、タブレット利用により紙使用量を削減する | 松高 | |
| (2)産業廃棄物のリサイクル率維持 | 現場 | 富﨑 | 建設資材発注時に数量を再度確認し、産廃を抑制する | 各現場 | 通年 |
| 3.水使用量の削減 | | | | | |
| 水使用量の削減 | 事務所 | 山本 | ステッカーなどによる、節水の意識付け | 白井/各現場 | 通年 |
| | 現場 | 富﨑 | 水量及び水圧の調整を図る | | |
| 4.グリーン購入の推進 | | | | | |
| グリーン購入の推進 | 事務所 | 山本 | カタログ等でグリーン商品確認後、優先的に購入 | 丸山 | 通年 |
| | 現場 | 富﨑 | 再生アスファルト、再生クラッシャーランを推進する | 各現場 | |
| 5.地域貢献活動の推進 | | | | | |
| 地域貢献活動の推進 | 事務所 | 井上 | 地域の清掃活動を実施する（月１回） | 齋藤 | 通年 |
| 6.自主設計・施工における環境配慮の推進・ | | | | | |
| 自主設計・施工における環境配慮の推進 | 事務所 | 涌 | 断熱材の等級をあげたり・複層ガラス等の環境に配慮した製品を提案する | 中村 | 通年 |
| 7.働き方改革の推進 | | | | | |
| 働き方改革の推進 | 事務所 | 山本 | 時間外労働月45時間、年360時間の達成 | 松高 | 2024年4月1日までに実施する |

# 6．環境経営計画に基づき実施した取組内容

・2023年度に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
・実施に当たっては、社内にエコアクション21を推進する次のような実施体制を構築して、全社員が一丸となって取り組みました。

## 6-1.エコアクション21実施体制



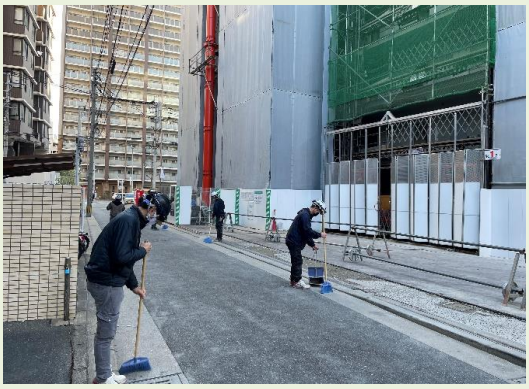

役割分担表

| 所　属 | 役割・責任・権限 |
|---|---|
| 代表者 | ・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ |
| | ・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する |
| | ・環境管理責任者、ＥＡ２１事務局員を任命する |
| | ・環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する |
| | ・ＥＡ２１全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する |
| 環境管理責任者 | ・ＥＡ２１ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる |
| | ・環境経営目標、環境経営計画を作成する |
| | ・３ヶ月に１回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認する |
| | 上記の結果を代表者に報告する |
| ＥＡ２１委員会 | ・環境経営目標の達成状況の報告 |
| | ・環境経営計画の実施状況の報告 |
| | ・環境経営目標や環境活動計画の見直しの審議 |
| | ・環境関連情報の伝達 |
| | ・問題が発生した場合、その原因を究明し是正処置を検討する |
| ＥＡ２１事務局 | ・環境管理責任者を補佐し、ＥＡ２１文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う |
| | ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う |
| 部門長（部長or課長） | ・環境経営方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全体に周知する |
| | ・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する |
| | ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する |
| | ・自部門に関連する法規制等を順守する |
| | ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する |
| | ・自部門の教育・訓練を実施する |
| 全従業員 | ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する |
| | ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する |

## 6-2. 2023年度に実施した環境への取組

・今年度は環境経営計画に基づき、以下の取組を実施しました。

・地域貢献活動



・エコドライブ10などの推進

・建設現場で地震時の避難訓練

・空調機の温度設定、省エネ家電の利用

・グリーン購入の推進

・段ボール回収（1回/月）

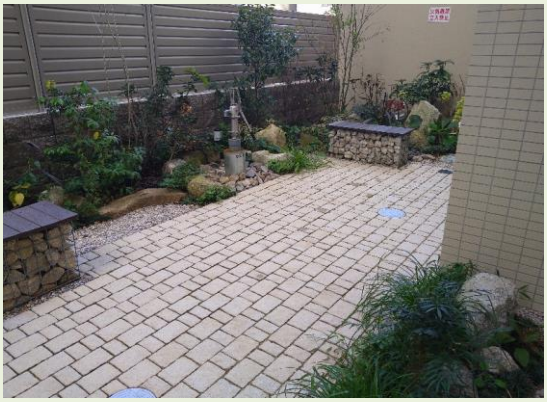
・タブレットを使用した会議

・環境への配慮（施工物件への植樹）

・環境配慮の設計事例（災害時用井戸、簡易トイレの設置）

防災マップ

防災倉庫



防災井戸

防災トイレ（災害時にはボックスを設置し使用する。）

# 7．環境経営目標の実績

・2023年度の環境経営目標達成状況は、以下のとおりです。
・この結果、2023年度の実績は5項目11目標で目標を達成できましたが、事務所のガソリン、都市ガス、軽油、水の使用量、現場の電気、軽油、灯油、水の使用量について目標を達成することができませんでした。
現場の二酸化炭素排出量は、電気、ガソリン、灯油、軽油の使用量が増加して、目標は達成できませんでした。現場における電気、軽油、水使用量は目標を大きくに下回りました。これは、受注工事件数が増え、作業時間が長くなったことが影響したためと考えられます。事務所のガソリン使用量につきましては社員数が増え、通勤、営業での使用が増えたため。
・一方、本業目標（環境配慮の設計）については、物件名「アルティザ博多ベイコート」、「クレアベル」環境に配慮した設計、施工（災害時用の井戸・簡易トイレの設置）を行うことができ目標を達成し、他施工現場に植樹を行いました。
・今後は環境意識を高め、全社員が一丸となって環境への取組を徹底させ、全項目の目標達成を目指していきます。

| 項目 | サイト区分 | 単位 | 基準年 | 2023年度 | | 目標達成率 | 目標達成判定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2021年度実績値 | （2022年10月～2023年9月） | | | |
| | | | | 目標値（2%削減） | 実績値 | | |
| 1.二酸化炭素排出量の削減 | 事務所 | kg-$CO_2$ | 67,313 | 65,967 | 47,408 | 139% | ◎ |
| | 現場 | | 82,328 | 80,681 | 92,253 | 87% | △ |
| | 計 | | 149,641 | 146,648 | 139,661 | 105% | ○ |
| (1)電気使用量の削減 | 事務所 | kWh | 104,143 | 102,060 | 42,034 | 243% | ◎ |
| | 現場 | | 72,386 | 70,938 | 98,640 | 72% | × |
| | 計 | | 176,529 | 172,998 | 140,674 | 123% | ◎ |
| (2)ガソリン使用量の削減 | 事務所 | L | 9,842 | 9,644 | 12,423 | 78% | × |
| | 現場 | | 22,724 | 22,269 | 22,347 | 100% | ○ |
| | 計 | | 32,565 | 31,913 | 34,770 | 92% | △ |
| (3)都市ガス使用量の削減 | 事務所 | ㎥ | 38 | 37 | 41 | 90% | △ |
| (4)軽油使用量の削減 | 事務所 | L | 134 | 131 | 279 | 47% | × |
| | 現場 | | 13 | 12 | 50 | 24% | × |
| | 計 | | 147 | 143 | 328 | 44% | × |
| (5)灯油使用量の削減 | 現場 | L | 685 | 671 | 688 | 98% | △ |
| 2.廃棄物排出量の削減 | | | | | | | |
| (1)一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | kg | 1,239 | 1,214 | 1,208 | 100% | ○ |
| (2)産業廃棄物のリサイクル率維持 | 現場 | %（リサイクル率） | 83.9 | 83.9 | 85.0 | 101% | ○ |
| 3.水使用量の削減 | 事務所 | ㎥ | 145 | 142 | 158 | 90% | △ |
| | 現場 | | 1,391 | 1,363 | 2,541 | 54% | × |
| | 計 | | 1,536 | 1,505 | 2,699 | 56% | × |
| 4.グリーン購入の推進 | 事務所 | 件数 | 10 | 10 | 10 | 100% | ○ |
| | 現場 | | 3 | 3 | 3 | 100% | ○ |
| 5.地域貢献活動の推進 | 事務所 | 回数 | 12 | 12 | 12 | 100% | ○ |
| 6.自主設計における環境配慮の推進 | 事務所 | 件数 | 1 | 1 | 1 | 100% | ○ |

備考）1.目標達成率の計算　削減目標の場合：目標÷実績×100　増加目標の場合：実績÷目標×100
2.目標達成判定区分　◎：目標達成率120%以上、○：100%以上120%未満、△：80%以上100%未満、×：80%未満、－：判定不可

# 8.環境経営計画及びその取組結果とその評価

・環境経営計画で定めた取組活動については、全体としては適切に実施することが出来ました。
・次年度は、今年度実施不良となった取組活動を中心に取組が進むよう、社員にもっと意識づけを行っていきます。

## 1.二酸化炭素排出量の削減

| 項目 | サイト区分 | 達成状況 | 取組活動 | 実施状況 | 評価（次年度の取組内容も含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| (1)電気使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 事務所<br>◎ | クールビズ、ウォームビズ実施、ポスター掲示し意識付け | ○ | 継続的に実施する。 |
| | | | 空調機の設定温度の管理 | △ | |
| | | 現場<br>× | 空調機フィルターの清掃（夏、冬期） | × | |
| | | | 使用時以外の照明の消灯 | ○ | |
| (2)ガソリン使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 事務所<br>× | エコドライブ10のポスターを掲示し意識付け | ○ | 継続的に実施する。 |
| | | | 公共機関の利用 | △ | |
| | | | 訪問先への最短距離の計画 | ○ | |
| | | 現場<br>△ | 急発進を行わない | ○ | |
| | | | 無用なアイドリングの禁止 | ○ | |
| (3)都市ガス使用量の削減 | 事務所 | △ | 火力の調整を行う | △ | 継続的に実施する。 |
| | | | 使用しない時は元栓を閉める | ○ | |
| (4)軽油使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 事務所<br>× | 急発進を行わない | ○ | 継続的に実施する。 |
| | | 現場<br>× | 無用なアイドリングの禁止 | ○ | |
| (5)灯油使用量の削減 | 現場 | △ | 防寒対策を行いストーブ等の使用を控える | ○ | 継続的に実施する。 |

## 2.廃棄物排出量の削減

| 項目 | サイト区分 | 達成状況 | 取組活動 | 実施状況 | 評価（次年度の取組内容も含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| (1)一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | ○ | 裏紙の再利用、段ボールなどのリサイクルを行う | ○ | 継続的に実施する。 |
| | | | メール、LINEWORKS、タブレット利用により紙使用量を削減する | ○ | |
| (2)産業廃棄物のリサイクル率維持 | 現場 | ○ | 建設資材発注時に数量を再度確認し、産廃を抑制する | ○ | 継続的に実施する。 |

## 3.水使用量の削減

| 項目 | サイト区分 | 達成状況 | 取組活動 | 実施状況 | 評価（次年度の取組内容も含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 水使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 事務所<br>△ | ステッカーなどによる、節水の意識付け | ○ | 建設現場の増加、規模拡大により達成出来なかった。今後も取組活動は継続していく。 |
| | | 現場<br>× | 水量及び水圧の調整を図る | △ | |

## 4.グリーン購入の推進

| 項目 | サイト区分 | 達成状況 | 取組活動 | 実施状況 | 評価（次年度の取組内容も含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| グリーン購入の推進 | 事務所 | ○ | カタログ等でグリーン商品確認後、優先的に購入 | ○ | 継続的に実施する（2023年度購入率約56%）。 |
| | 現場 | ○ | 再生アスファルト、再生クラッシャーランを推進する | ○ | 継続的に実施する。 |

## 5.地域貢献活動の推進

| 項目 | サイト区分 | 達成状況 | 取組活動 | 実施状況 | 評価（次年度の取組内容も含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 地域貢献活動の推進 | 事務所 | ○ | 地域の清掃活動を実施する（月１回） | ○ | 継続的に実施する。 |

## 6.自主設計・施工における環境配慮の推進

| 項目 | サイト区分 | 達成状況 | 取組活動 | 実施状況 | 評価（次年度の取組内容も含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 自主設計における環境配慮の推進 | 事務所 | ○ | 断熱材の等級をあげたり・複層ガラス・植樹等の環境に配慮した製品を提案する。 | ○ | 継続的に実施する。 |

## 7.働き方改革の推進

| 項目 | サイト区分 | 達成状況 | 取組活動 | 実施状況 | 評価（次年度の取組内容も含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 働き方改革の推進 | 事務所 | - | 時間外労働月45時間、年360時間の達成 | ○ | 2024年4月1日迄に実施する。 |

備考）目標達成状況判定区分　◎：目標達成率120%以上、○：100%以上120%未満、△：80%以上100%未満、×：80%未満、－：判定不可
取組実施状況判定区分　◎：よく実行されている（定着）、○：実行されている、△：一部では実行されている、×：実行されていない、－：判定不可

# 9.次年度の計画

## 9-1.環境経営目標

・今年度の環境経営目標の達成状況は、6項目23目標のうち5項目11目標で達成した。
次年度（2024年度）の目標の水使用量については施工状況により変動し使用量が読めない為、従来の削減率（3%削減）をそのまま目標とし、ガソリン使用量については今期従業員増加もあったため、目標の見直しが必要と思われる。前期実績1%削減を目標とします。（今期実績：34,770L「全社」の1%削減）二酸化炭素排出量目標は2021年度の3%削減で変更なしで計画。

（年度：10月～翌年9月）

| 項目 | サイト区分 | 単位 | 基準年 | 単年度目標 | 中長期目標 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2021年度 | 2024年度 | 10年後 2031年度 | 11年後 2032年度 |
| | | | 実績値 | （3%削減） | （10%削減） | （11%削減） |
| 1.二酸化炭素排出量の削減 | 事務所 | kg-$CO_2$ | 67,313 | 65,294 | 58,764 | 58,111 |
| | 現場 | | 82,328 | 79,858 | 71,872 | 71,074 |
| | 計 | | 149,641 | 145,152 | 130,637 | 129,185 |
| (1)電気使用量の削減 | 事務所 | kWh | 104,143 | 101,019 | 93,729 | 92,687 |
| | 現場 | | 72,386 | 70,214 | 65,147 | 64,424 |
| | 計 | | 176,529 | 171,233 | 158,876 | 157,111 |
| (2)ガソリン使用量の削減 | 事務所 | L | 9,842 | 12,299 | 11,069 | 10,946 |
| | 現場 | | 22,724 | 22,124 | 19,911 | 19,690 |
| | 計 | | 32,565 | 34,422 | 30,980 | 30,636 |
| (3)都市ガス使用量の削減 | 事務所 | ㎥ | 38 | 37 | 34 | 34 |
| (4)軽油使用量の削減 | 事務所 | L | 134 | 130 | 121 | 119 |
| | 現場 | | 13 | 13 | 12 | 12 |
| | 計 | | 148 | 143 | 133 | 131 |
| (5)灯油使用量の削減 | 現場 | L | 685 | 665 | 617 | 610 |
| 2.廃棄物排出量の削減 | | | 1,239 | 1,202 | 1,115 | 1,103 |
| (1)一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | kg | 1,239 | 1,202 | 1,115 | 1,103 |
| (2)産業廃棄物のリサイクル率維持 | 現場 | %（リサイクル率） | 83.9 | 83.9 | 83.9 | 83.9 |
| 3.水使用量の削減 | 事務所 | ㎥ | 145 | 141 | 131 | 129 |
| | 現場 | | 1,391 | 1,349 | 1,252 | 1,238 |
| | 計 | | 1,536 | 1,490 | 1,382 | 1,367 |
| 4.グリーン購入の推進 | 事務所 | 件数 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | 現場 | | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 5.地域貢献活動の推進 | 事務所 | 回数 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 6.自主設計における環境配慮の推進 | 事務所 | 件数 | 1 | 1 | 1 | 1 |

備考）・購入電力の二酸化炭素排出係数は、現場は0.385kg-$CO_2$/kWh（九州電力（株）2021年度調整後排出係数）使用、事務所は0.423kg-$CO_2$/kWh（西部ガス電気排出係数）を用いた。
・産業廃棄物のリサイクル率維持には機材センターも含む。

## 9-2.環境経営計画

・次年度の環境経営計画については、本年度の環境への取組が概ね良好であったことから、次年度もこの取組を継続することとします。ただし、一部取組不良項目については、重点項目（青字で表示）としてその取組の周知・徹底を図ります。
・また、産業廃棄物のリサイクル率維持の為、分別徹底の取組を追加致します。
・働き方改革の推進では来年度は現場（工務部）の時間外労働を月45時間、年360時間を取組活動に追加

●青字：重点項目　　赤字：追加項目

| 項目 | サイト区分 | 責任者 | 取組活動 | 担当者 | スケジュール |
|---|---|---|---|---|---|
| 1.二酸化炭素排出量の削減 | | | | | |
| (1)電気使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 山本 | クールビズ、ウォームビズ実施、ポスター掲示し意識付け | 白井 | 冷房期：7～10月<br>暖房期：12～3月 |
| | | | ●空調機の設定温度の管理 | 山口（翔）/各現場 | |
| | | | ●空調機フィルターの清掃（夏、冬期） | | 3カ月に1回 |
| | | | 使用時以外の照明の消灯 | | 通年 |
| (2)ガソリン使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 井上 | エコドライブ10のポスターを掲示し意識付け | 白井 | 通年 |
| | | | ●公共機関の利用 | 島袋/各現場 | |
| | | | 訪問先への最短距離の計画 | | |
| | | | 急発進を行わない | | |
| | | | 無用なアイドリングの禁止 | | |
| (3)都市ガス使用量の削減 | 事務所 | 山本 | ●火力の調整を行う | 丸山 | 通年 |
| | | | 使用しない時は元栓を閉める | | |
| (4)軽油使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 井上 | 急発進を行わない | 島袋 | 通年 |
| | | | 無用なアイドリングの禁止 | 各現場 | |
| (5)灯油使用量の削減 | 現場 | 富﨑 | ●防寒対策を行いストーブ等の使用を控える | 各現場 | 暖房期：12～3月 |
| 2.廃棄物排出量の削減 | | | | | |
| (1)一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | 山本 | 裏紙の再利用、段ボールなどのリサイクルを行う | 結城 | 通年 |
| | | | メール、LINEWORKS、タブレット利用により紙使用量を削減する | 松高 | |
| (2)産業廃棄物のリサイクル率維持 | 現場 | 富﨑 | 建設資材発注時に数量を再度確認し、産廃を抑制する | 各現場 | 通年 |
| | | | 混合廃棄物としないよう、分別を徹底する | | |
| 3.水使用量の削減 | | | | | |
| 水使用量の削減 | 事務所<br>現場 | 山本 | ステッカーなどによる、節水の意識付け | 白井 | 通年 |
| | | | ●水量及び水圧の調整を図る | 各現場 | |
| 4.グリーン購入の推進 | | | | | |
| グリーン購入の推進 | 事務所 | 山本 | カタログ等でグリーン商品確認後、優先的に購入 | 丸山 | 通年 |
| | 現場 | 富﨑 | 再生アスファルト、再生クラッシャーランを推進する | 各現場 | |
| 5.地域貢献活動の推進 | | | | | |
| 地域貢献活動の推進 | 事務所 | 井上 | 地域の清掃活動を実施する（月1回） | 齋藤 | 通年 |
| 6.自主設計・施工における環境配慮の推進 | | | | | |
| 自主設計・施工における環境配慮の推進 | 事務所 | 涌 | 断熱材の等級をあげたり・複層ガラス等の環境に配慮した製品を提案する | 中村 | 通年 |
| 7.働き方改革の推進 | | | | | |
| 働き方改革の推進 | 事務所<br>現場 | 山本 | 時間外労働月45時間、年360時間の達成 | 松高<br>各現場 | 通年 |

# １０．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

・自社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。
・年度末に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの違反の指摘や利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

| 適用される法規制等 | 適用される事項（施設・物質・活動等） | 遵守判定 |
|---|---|---|
| 廃棄物処理法 | 事業系一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ・木屑・廃油） | ○ |
| 建設リサイクル法 | ｺﾝｸﾘｰﾄ、ｺﾝｸﾘｰﾄと鉄からなる建設資材、木材、ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ<br>分別解体と再資源化 | ○ |
| オフロード法 | 特定特殊自動車の制限 | ○ |
| 騒音規制法 | 特定建設作業の実施の届出 | ○ |
| 振動規制法 | 特定建設作業の実施の届出 | ○ |
| 自動車リサイクル法 | 使用済み自動車の適正引渡し | － |
| 家電リサイクル法 | 冷蔵庫・テレビ・エアコン・洗濯機の廃棄時の適正引渡し | － |
| フロン排出抑制法 | 業務用エアコンの簡易点検 | ○ |
| 石綿則 | 石綿等使用建築物等の飛散性及び保温材等の解体、封じ込め、囲い込みを含む除去作業 | ○ |
| 小型家電リサイクル法 | 使用済小型電子機器等廃棄時の適正引渡し | ○ |

備考）　遵守判定区分　○：遵守　×：不遵守　ー：該当なし

# １１．代表者による全体評価と見直し結果

・2023年度エコアクション21の運用成績を踏まえて、今年度の取組状況の全体評価と次年度計画の見直しを行いました。結果は以下のとおりです。

| | | |
|---|---|---|
| 評価 | 環境経営システムが有効に機能しているか | 環境経営目標を設定し活動するルールはできており、環境経営システムは有効に機能しています。 |
| | 環境への取組みは適切に実施されているか | 節電・節水・清掃活動など、環境への取組は適切に実施されています。 |
| 見直し | 環境経営方針変更の必要性 | 現状のまま維持・継続することとします。 |
| | 環境経営目標・環境経営計画・実施体制変更の必要性 | 環境経営目標は当初の計画通り3%削減を目標とします。（ガソリン使用量を除く）<br>環境経営計画は重点項目を定め、ガソリン使用量削減を確実につるためにエコドライブの取組を追加します。 |
| | その他の要素 | 特になし |